



ごあいさつ

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
支部長 山下 益明

夏本番を迎え、皆さまも精力的にご活躍のことと存じます(弊職は、いささか夏バテ気味)。

最近の話題で印象的だったことは、サッカーの世界カップです。崩壊寸前だった日本代表が、いかにチームをまとめ、モチベーションを高めて戦いに臨んだか…この過程にも興味深いものがあります。結果としては敗退しましたが、技術面はもちろん、精神的な強さやチームワークが戦略遂行の際には必須と、再認識しました。

さて、話題は変わります。7月6日に平成22年度「全国支部長会議」へ出席しましたので、感想を述べさせていただきます。

今年度から変更した「理論政策更新研修」について。香川県会場ではありませんが、全国的な傾向として、受講態度の芳しくない方が見受けられるそうです。そこで今年から、パソコン使用禁止、携帯電話は電源オフ(マナーモードも禁止)、私語厳禁…となりました。経営指導をする側の立場としては、このようなルールが決められること自体、残念なことです。皆さまもご理解ご協力ください。

懸案の「公益法人制度改革への当協会の対応」は、現段階の方向性として、「各都道府県において一般社団法人を設立し、これを会員とする連合会(本部)を組織する(団体会員方式)」が有力のようです。

その理由はいくつかありますが、これまで検討してきた「本店・支店関係方式」の場合、本部の目が地方に届かないことが挙げられます。とくに人事、監査面について、地方の実情を把握するために本部職員を増員するのはナンセンス…といえるからです。

この件については、香川県支部からも意見を出しております。まだまだ検討すべき余地が多く、また情報が入りましたら、皆さまに即、お伝えする所存です。

世間をにぎわした「事業仕分け」について、第二段階に入りました。今後については、かなりのハードルが想定され、本部と中小企業庁が入念な準備を行っている最中とのことでした。

最後に、平成22年度の具体的な支部事業計画もほぼ決まり、各事業とも順調に滑り出ております。とくに研修事業については引き続き、皆さまのご研鑽の一助となるような内容を実施してまいります。お時間の都合をつけてお誘い合わせのうえ、ぜひご参加いただきたいと思います。存じます。

以上

**香川県支部「第26回通常総会」報告**

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
理事 梅澤 秀樹

平成 22 年 6 月 5 日(土)18:00 よりサンポートホール高松 55 会議室(高松市サンポート 2 番 1 号)にて第 26 回通常総会が開催されました。

参加いただいたのは支部会員総数 39 名のうち、出席 20 名、委任状出席 12 名でした。

山下支部長が議長となり、議事録署名人には久保 敏機、小島 仁の先生方になっていただき下記の議案を審議し、原案どおり承認可決しました。

- 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告書、収支計算書および貸借対照表承認の件  
村上副支部長より、議案書に基づき説明があり、採決の結果、原案どおり満場一致で承認可決されました。

なお、白井監事より会務の執行および会計監査の結果、いずれも適正である旨の報告がありました。

- 第 2 号議案 平成 22 年度事業計画(案)および収支予算書(案)承認の件  
村上副支部長より、平成 22 年度の事業計画(案)および収支予算書(案)の読説明があり、採決の結果、原案どおり満場一致で承認可決されました。

以上をもって 18:30 に第 26 回通常総会を終了し、引き続きホテルクレメントの日本料理「瀬戸」において懇親会を開催し、情報の交換等を行いました。

以上

**各事業部の抱負**

**■登録更新事業部**

本年度も9月4日（土）に、高松商工会議所で更新研修を実施いたします。内容は、四国経済産業局中小企業課長・西川 裕泰氏より、「新しい中小企業政策について」講義いただきます。その後、担当村上で「農業経営支援」と、会員の小島 仁氏の「地球温暖化の中小企業への影響とその対策について」の研修をいたします。まだまだ残暑が厳しい一日と考えられますがよろしくご参加ください。

またその後、会員と非会員との特別交流会も例年通り実施いたしますので、そちらのほうへもご参加をお願いいたします。

**担当 村上 潔**

**■会員事業部**

- |   |
|---|
| 業務内容： 1. 受託事業にかかる業務全般<br>2. 支部における調査・研究事業の実施、活動報告（対本部）<br>3. 会員開拓活動 |
|---|

今回会員事業部の担当をさせていただきます岩倉です。会員事業部では、独立系診断士・企業内診断士それぞれに、最適な会員環境を提供できるよう、企画・運営を進めていきます。また、本年も調査・研究事業を実施いたしますので、先日よりご連絡させていただきました通り、みなさまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますので、皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

**担当 岩倉 正敏**

**■広報事業部**

昨年度は「ビジネス香川」に当香川県支部の特集をしていただくことができました。本年度も対外的に当支部を積極的に紹介していき、存在感を示していきたいと考えております。

また、当支部の広報誌「診断かがわ」については、例えば診断士の先生方の横顔として趣味を通じて交流されている方からの紹介ができるようなコーナーを設けたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**担当 梅澤 秀樹**

## **REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT REPORT**

昨年度より引き続き広報事業を担当させていただきます。事務局の方にフォローをしていただきながら、梅澤先生、また、後方でご支援くださっている小島先生とともに、会員の皆様はもちろん、会員以外の方にも、診断協会の活動内容をご理解していただけるよう考えております。よろしくお願いいたします。

**担当 立川 敦史**

### **■研修事業部**

本年度も研修部員として取り組ませていただいております。支部研修については現支部長体制になってから、プロコン養成講座や支部調査・研究事業の発表の場としての活用等、以前と比較して多角的視点に基づく研修が増加してきています。本年度においても直接スキルアップにつながる研修や民間受注につなげるための研修等、これまで以上に、会員の実益に合うことが期待できるテーマを計画しています。今後も、より会員の皆様にお役に立てる研修を企画していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**担当 笠居 昭司**

今までの形にこだわることなく、支部会員の皆様が求めているノウハウや情報を積極的に研修にとりあげていきます。また、研修終了後の懇親会では、有効な情報の交換ができる場となるよう努めていきます。

**担当 川上 実**

### **■監 事**

各種支部活動の内容も、支部長はじめ各理事のご努力により充実してきました。あとは、「もう少し会員が増えれば」と思います。監事として公正な監査と共に、何か側面からお手伝いできればと考えています。

**担当 白井 重雄**

**第3回支部研修報告**

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
研修部 吉本 和巨

- 日時：2010年2月20日（土）15：00～17：00
- 場所：サンポートホール高松 62 会議室
- 講師：香川県支部／川上 実氏、小島 仁氏、吉本 和巨氏
- テーマ：「香川県内の企業における環境問題への取り組みに関する調査研究」報告
- 内容：

「香川県内の企業における環境問題への取り組みに関する調査研究」を通じて、環境経営に取り組んでいる企業の多くは、社会的責任を果たすことを動機付けとしている場合が多いことがわかった。

しかし、環境問題を自社のマーケティング戦略に反映させ、ブランド力の向上とマーケットシェアの拡大を実現することが「あるべき環境経営」ではないかと報告書では結論付けている。

1. 地球環境と現状の取り組み

「環境対応は中小企業経営に進化をもたらすのか(川上 実 氏)」というテーマで、環境問題に取り組む必要性を考察し、環境対応を行うことによるメリットおよびリスクを整理し、将来において企業存続が危ぶまれる可能性を指摘、「現時点で応分の対応をすることによって、企業体力をつけると考えるほうが適切ではないか」としている。

2. 調査の実施概要

今回の調査目的である、香川県内の企業における環境問題への取り組みの実施・課題を明らかにするとともに、今後の方向性等について検討し、環境問題への取り組み促進を図ることを目的とした。

3. 各社事例の発表

香川県内の企業 9 社のインタビュー調査結果を、実際に調査を実施したメンバーがそれぞれの企業について発表した。

ポイントは、

① 環境経営の取り組みレベルを分けて対応する

社会的責任レベルの取り組みと戦略的レベルの取り組みを明確に分離して対応した方が定着化しやすいのでは？

② 環境経営と経営基盤

経営基盤の強化が重要なポイントであり、経営基盤が弱く環境経営に取り組めない企業はますます軟弱化する可能性もある。

以上

**REGISTERD MANAGEMENT CONSURUTANT REPORT**



■ 山下支部長より主旨の説明



■ 川上氏より調査研究の報告



■ 小島氏より各社事例の発表



■ 吉本氏より各社事例の発表



■ 「あるべき環境経営」とは・・・



## 新入・転入会員オリエンテーション研修報告

社団法人中小企業診断協会香川県支部

中井 由郎

去る2月28日(日)、「新入・転入会員対象 オリエンテーション研修」が開催されました。山下支部長、村上副支部長、岩倉理事にオブザーバーとなっただき、新入会員5名と転入会員1名で、診断協会や診断士の活動について学ぶとともに、参加者の相互理解を深める目的で行われました。

最初に簡単な自己紹介を行った後、山下支部長から香川県支部の活動内容と今後の方向性についてお話をいただきました。前年度の活動や研修内容をもとに説明していただき、支部の活動がよくわかりました。さらに、診断協会本部理事の活動から感じた、今後の診断協会や診断士の状況変化についてお話いただき、それに向けた課題や取り組みについても聞くことができました。

次に村上副支部長からは、独立後の体験談と診断士活動における考え方をお話いただきました。商工会議所への営業の話为例にして、人脈形成の重要性と自分から仕事をつくっていく考えが大切だと話されました。また、人とは異なる事業領域をつくる、仕事のリスク分散を図るといった、独立して活動していくうえでの注意点もお話いただきました。

岩倉理事からは、目指してほしい診断士像と協会活動への参加姿勢についてお話いただきました。独立診断士の段階についてお話をされ、自分で仕事を受注できるようになって欲しいとの激励を受けました。また、「コンサルタントが売る商品は、『経営判断』である」という考えを教えてくださいました。『経営判断』には文書化や定型化した基準がないため、極めて高度な判断であり、だからニーズがあるということでした。そして、その判断力を養うためには、知識・覚悟・経験という3つの要素を伸ばさなければならないと話されました。これを聞いて、自分が成長するために取り組まなくてはいけない点について、気付かせていただきました。

また、協会の活動に参加する姿勢としては、してもらおうといった受身的な姿勢ではなく、アイデアや企画を出すといった積極的な姿勢で参加して欲しいという要望もいただきました。

これらのお話を聞いたうえで、全員が今後の資格活用やパーソナルビジョンを発表しました。そして、発表内容についてお互いに質問し合うことによって、それぞれの状況や考え方を深く知ることができました。

この研修に参加して、診断士の役割や活動内容、考え方などの資格勉強では知ることのない、資格を持った診断士としての知識を得ることができました。また、協会の活動を知り、他の先生方との面識ができたことは、今後の活動にも参加しやすくなった感じがします。さらに、他の先生方の状況や意見を聞くことによって、自分も頑張ろうという刺激になりました。お話しいただいた先生方、一緒に参加した先生方、本当にありがとうございました。

以上

**愛媛・香川県支部交流会報告**

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
村上 潔

平成 22 年 5 月 22 日に、愛媛県支部が直島のベネッセが展開しているベネッセアートサイトを研修に来られました。その夜高松で一泊するとのことでありましたので、有志による香川県支部との交流会をサンポートの「レストラン ミケイラ」で実施いたしました。

愛媛県からは東矢会長をはじめ 7 名のご参加があり、当香川県支部からは山下支部長以下 8 名が参加いたしました。

当日は、「海の祭典 2010」イベント開催中であり、運よく「レストラン ミケイラ」のすぐ横に、帆船の海洋練習船「日本丸」が寄港。その話題と昨年度に当香川県支部と岡山県支部との合同研修会で、直島のベネッセアートサイトへ行ったときの話や、ホテルでの草のアートや、地中美術館の料金や展示物について等の話題で大いに盛り上がりました。

それ以外の話題の多くは、やはり中小企業診断士の業務についてと、今後の展開方法についてでした。特に山下支部長の挨拶の中にあつた、中小企業診断士の社会的地位の向上については、両支部会員とも共感していました。

愛媛県支部の会員の一人が、当日の朝、直島へ行く前、人気うどん店の「竹清」へ行ってきたとのこと。高松市内にオープンした「宮武うどん」の話など、うどん談義に花を咲かせました（後日、事務局の話では、翌日に有志 5 名が「宮武うどん」に並び、美味しい讃岐うどんを食べたとのことです）。

約 1 時間半程度で和気あいあいのうちに交流会も終了いたしました。その後有志が 2 次会・3 次会と市内の街へ流れてゆきました。

以上



■窓の向こうには、「日本丸」が・・・



■「宮武うどん」で讃岐うどんを楽しむ  
愛媛県支部のみなさん

**社団法人 中小企業診断協会『第 55 回通常総会』報告**

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
岩倉 正敏

平成 22 年 6 月 15 日(火)、社団法人中小企業診断協会の第 55 回通常総会が銀座フェニックスプラザにおいて午後 2 時より開催されました。総会では、議案書に基づき審議を行い承認されました。

(今回の通常総会には、香川県支部より村上副支部長および岩倉が参加いたしました)

**■議案**

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告書、収支計算書および貸借対照表 承認の件

第 2 号議案 平成 22 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) 承認の件

議案の内容どおり承認され、本年度の事業計画が次のように決定されました。

**■一般社団法人への移行**

当協会は、昨年度「一般社団法人」への移行を決定したが、今後の協会組織の在り方などをさらに調整する必要から、認可申請を 1 年延長し、平成 23 年度に申請することとした。平成 22 年度は「新定款(案)」や関連規定等を十分に検討したうえで準備作業を行い、平成 23 年度の通常総会に諮ることとした。

**■事業計画**

昨今のかつてない景気悪化の中で、中小企業の経営環境は厳しさを増しており、診断士に求められる役割と社会的期待は高まっている。

そのような環境変化を踏まえ、下記 5 事業について重点的に取り組む。

**1. 企画戦略事業**

今後の本部・支部の事業活動や組織運営の在り方等の中・長期的に検討・策定する。

**2. 会員事業**

会員組織率の向上、支部活動の活性化を図る。

**3. 調査・研修事業**

診断実務能力向上、診断専門知識の共有化を図り、診断士の持つ実践的専門知識を外部へ情報発信する。

**4. 新分野開発事業**

診断士の活動分野拡大を図り、ビジネスチャンスに対応できるよう検討する。

**5. 広報事業**

診断士の知名度向上、社会的地位の向上を図る。

以上



## 新入会員自己紹介

岡崎 進 (おかざき すすむ)

皆さま、初めまして！わたくし、岡崎進と申します。平成 22 年 3 月に診断士登録を行いまして、同年 6 月に診断協会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単に自己紹介させていただきます。昭和 43 年 3 月に山口県宇部市に生まれ、現在 42 才です。山口県宇部市といえば、ユニクロの株式会社ファーストリテイリングの前身「メンズショップ小郡商事」が創業された地であり、また、現在の菅直人内閣総理大臣の出身地でもあります（当原稿の作成時点ではありますが...）。高校卒業までは山口県宇部市で過ごし、その後、岡山大学に進学するため、岡山県岡山市に移りました。そして、大学卒業後は株式会社TKCに就職いたしました。

株式会社TKCは、全国約一万名の税理士・会計士の方々に組織された「TKC全国会」を、さまざまな側面から支援しています。私は入社して最初の 2 年間、広島県広島市の支店に配属となり、TKC会員数を増強する部署に所属して、当時は毎日のように会計事務所へ飛び込み訪問をしておりました。飛び込み訪問を経験された方はご存じだと思いますが、玄関入口のドアをノックするまでが結構勇気のいるものでした。しかし、今となっては人格形成の過程において、非常に良い経験をさせていただいたと思っております。

その後、香川県高松市の支店に転勤となり、最初は引き続き、飛び込み訪問ばかりの毎日でしたが、2 年ほど経って、TKC会員である会計事務所とその顧問先企業を支援する部署に移りました。そこで携わった業務内容を簡単に申しますと、会計事務所およびその顧問先企業に対する会計・税務システムの導入提案、効率的・効果的な活用支援などのコンサルティングです。私なりに当業務に邁進し、幸いにも社内外から信頼をいただくことができ、TKC勤務時代の終盤は支店長代理まで務めさせていただきました。ただ、一般的には遅いかもしれませんが、40 才を目前にした時、「もっと自分を高めたい」、「自分の人生、このままで良いのか」、「悔いのない人生を送りたい」という思いが抑えられなくなり、退職を決意しました。そして、自分をもう一段レベルアップし、より多くの会社に貢献するために、トータル的な経営コンサルティングがしたいと考え、中小企業診断士試験にチャレンジし、なんとか合格することができました（TKC退職後の丸一年は、職に就かず勉強ばかりの日々を送ることができ、家内や親族を始め、周りの方々には心から感謝しております）。

現在は縁あって、TKC勤務時代に顧客であった税理士の方が、他士業と結束して立ち上げた会社に参画することができ、診断士としてはピカピカの一年生ではありますが、今は診断士業務に一所懸命取り組んでおります。今後は諸先輩方のご指導を賜りながら、レベルアップしてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、この度は自己紹介の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。今後とも末永く、よろしくお願い申し上げます。

以上

会員だより



社団法人中小企業診断協会香川県支部  
筒井 健吾

最近、中高年の登山ブームだそうです。私も去年その一人になりました。毎週、一人で近隣の山歩きを楽しんでいます

なぜ山にはまったか、山歩きの魅力をご報告します。

- ① 健康増進。平均3時間、長いときは9時間山を歩いているので体重が減りました。「平家平」で遭難しそうになった時は、ベルトの穴が一つ縮まりました。
- ② ストレス発散。あまりストレスは感じないほうですが、1日歩きますとさらに能天気になります。
- ③ 家庭円満。一人でできる趣味がもてたので濡れ落ち葉族にならずにすみしました。
- ④ 自然を満喫。「屋島」がお気に入りです。北嶺まで行くと瀬戸内海の景色が実に見事です。また剣山で一泊したときは、夕焼けの雲海や星空がきれいでした。珍しいブロッケン現象も見ることができ感激しました。
- ⑤ 地理を覚える。香川は独立峰が多いので車で走っているとき道案内の役に立ちます。「おにぎり山三兄弟」は高松西インターの傍の山です。
- ⑥ 廉価。近くの山に登るのであれば、おにぎり代くらいです。ただ道具に凝りだすと靴、ザック、レインコート等の高い物が欲しくなります。
- ⑦ 見知らぬ人との邂逅。山の単独行は寂しいので、出会った人とはすぐに親しくなります。「笹が峰」では、帰り道が不安だったので松山から来た吉良さんにくっついて下山。3時間話しました。また「一ノ森ヒュッテ」でであった85歳の加藤おばあちゃんは歴史を語ってくれました。
- ⑧ 日常の仕事が楽しくなる。平日は体力回復期と考えています。少々きつい仕事でも肉体的には楽なもんです。往復の通勤は自転車で足腰の筋力アップに努めています。
- ⑨ 不安克服。山登りの途中、道迷いなどの不安を感じると集中力がなくなり足運びが乱れ非常に危険です。そうならないために事前の準備、現在地の確認、撤退の決断が重要です。これは企業経営にもつながるかな。
- ⑩ 充実感。登山中は、やめとけばよかったかなと後悔の気持ちが出ることがあります。しかし疲れきって下山すれば、ハードだったほど充実感は大きい。次は何処に行こうと考えています。

まだ去年の12月から始めたばかりの初心者です。勉強のため高松市登山学校にも入会しました。診断士協会の皆さんで山好きの人がいましたら、ぜひ一緒に上りましょう。

会員だより

問題解決の新しい形と最高の形—Dancing Guyとアメノウズメノミコト—

社団法人中小企業診断協会香川県支部

浮田 茂幸

公共機関でも民間企業でも解決できない社会的な問題を、画期的な手法で持続的な形で解決する事業を起こす人々を社会起業家（ソーシャルベンチャー）と呼び、その人たちと協働し、かつ、資金の一部を提供する組織が今年2月に四国で設立されました（NPO法人ソーシャルベンチャーズ四国、URL：<http://www.sv-shikoku.com/>）。私自身、社内でも活用できない企業内診断士のため、そのスキル・ノウハウを四国の社会起業家と協働するべく活動しております。問題解決の新しい形と最高の形について、この場をお借りして紹介させていただきます。

ご存知の方もかなり増えてきましたが、Leadership Lessons from Dancing Guy という有名な映像があります。

今年のハーバード社会起業大会の基調講演でも紹介された同映像ですが、6月15日に鳩山前首相がツイッターで「私に『裸踊り』をさせてくださったみなさん、ありがとうございました」としてつぶやきました。新聞等メディアからは「真意は何か？」と騒然とした反応がまずありました。

翌日（6月16日）になって、鳩山さんご本人から『裸踊り』 答えはこの動画にあります。<http://bit.ly/aP3bhd> 官だけでなく国民全体が公共を担う「新しい公共」の理念。私はその理念と共に、動画の中の青年のように、踊り続けていきたいと思えます」という説明がありました。どうぞ、インターネットで、上記のURL（<http://bit.ly/aP3bhd>）を入力してYouTubeの映像を観て下さい。TED Conference で紹介された「社会運動をどうやって起こすか？」という映像です。日本語の訳とともに、笑いと白熱した会場の空気も楽しめます。

Dancing Guy の映像を観て、私が感じたことはYouTubeで解説されたリーダーシップ論とは、ちょっと違う視点です。

▽Dancing Guy ≡ アメノウズメノミコトの舞い

▽最初のうちの踊りだす人々 ≡ その舞いをみてドッと沸いて笑う神様たち

▽一気に増えだす人々 ≡ 天の岩戸からでてくるアマテラス

日本人ならほとんどの人が知っている古事記の「天の岩戸開き」の話に問題解決の最高の形が既に示されているんです。

頑なな人、共感しない人、関わりを持ちたがらない人を、巻き込むのは、アメノウズメノミコトの舞いのような、魅力的で、ユーモラスな行動と、それを観て楽しむ人達。

目の前の問題を解決するときに、「力づく」や「数に頼んで」するのではなく、「笑顔の力で明るく楽しく」という最高に素敵な方法があります。

（「笑顔は無限力—仙人は今日も笑っています」著者：炭師・原伸介、出版：文屋より）

世界で、日本で、四国で、それぞれの人の現場で、「笑顔の力で明るく楽しく」少しずつ問題が解決されていきそうな気がします。今日も笑顔で♪ w\_(^o^)\_w

**診断士の友達の輪 (NO. 1)**

社団法人中小企業診断協会香川県支部  
立川 敦史

今回初企画として、診断かがわの会員診断士のプライベートな一面を掲載し、診断協会内部では見られない会員診断士の一面を紹介していきたいと思います。プライベートでの活動を知っている方に、紹介文を書いていただき、まだ、診断協会では知られていない一面をご紹介していきます。

まず、今回の担当は広報事業担当の立川からさせていただきます。

皆様こんにちは、ご指名により第1回の担当をさせていただきます立川です。この企画が、永く続くことを祈っております。私は、中学生の頃よりバレーボールをしており、高校、大学、社会人とやってきました。趣味程度のバレーボールですが、現在は、PECというママさんバレーボールチームにいらしていただき、日々の運動不足を解消しております。今回は、私が参加させていただいている、チームの方に私の簡単な紹介をお願いします。皆様が、知らない一面をご覧ください。

**PECバレーボールチーム**

PECは、亀阜幼稚園のママさん方が設立したバレーボールチームで、創部16年になります。今回立川さんの依頼により投稿させていただきます坂東と申します。立川さんがバレーボールに来られて5年程度になりますが、バレーボールの時間と、飲み会以外立川さんがどのような方か知りません。ですので、ある一定の限定した部分で知っている立川さんを紹介させていただきます。

基本的には真面目な方だと思います。毎週月曜日には休むことなく参加しています。休まないで仕事してるのかなと心配のなることもありますが、出席率がいい方です。19時から開始していますが、時間通りに到着して、バレーボールのポール、ネットの設営をしています。バレーボールを長年やっているような感じはしますが、最近プレー中に、よく手を抜きます。いいプレーをするとなぜかみんながびっくりします。という感じで結構いじられキャラでバレーボールをしています。体育会系ですから、年功序列は絶対です。マイペースで、練習中に手を抜きますが、私が叱ると真面目にやります。仕事時の立川さんが想像できませんが……。簡単ですが紹介文とさせていただきます。バレーボールの経験者がいらっしゃいましたら、ぜひPECにご参加ください。随時メンバー募集をしております。男女問わず参加者をお待ちしております。

REGISTERD MANAGEMENT CONSURUTANT REPORT



■パパさん達も、いい汗流してます！



■くつろぐ、PECメンバーのみなさん

**今後の予定**

**「第1回支部研修」のご案内**

テ ー マ	「民間受注獲得に向けた意見交換会」 【内容】①診断士を取り巻く環境確認(公的な仕事減少、民間契約の現状、地域性) ②民間企業の支援ニーズの現状 (企画・システム構築型：人事制度、ISO、事業計画作成、自立支援型：ハンズオン支援、研修) ③今後、求められるニーズ→必要な能力、スキルとは？ ④受注するための要件、受注戦略(個人、法人化、診断協会、任意グループ)、具体的な受注活動イメージ
対 象 者	独立診断士の会員向け
実 施 日 時	2010年8月7日(土曜日) 15:00~17:00
司 会	笠居 昭司 氏(香川県支部理事)
会 場	サンポート高松シンボルタワー17階 オフィスサポートセンター会議室 A3 (〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー17階 Tel 087-825-5522) (※ お車でのご越しの場合、駐車料金をご負担ください)
受 講 料	無料(本部補助金活用)
懇 親 会	研修会後(17:15~)懇親会を予定 (※ 会場未定、会費一人5,000円程度、当日集金いたします)
お申込方法	eメールまたはFAX
お申込締切	2010年8月2日(月曜日)



## 平成 22 年度 中小企業診断士理論政策更新研修のご案内

1. 開催日時：平成 22 年 9 月 4 日(土曜日) 13:00～17:00

2. 会 場：高松商工会議所(2 階大ホール)

〒760-8515 高松市番町 2 丁目 2 番 2 号(TEL:087-825-3501)

※ 駐車場は数に限りがあります。なるべく公共交通機関でお越しください

3. 研修テーマ・講師

時 間	研修テーマ	講 師
13:00 ～ 14:00	新しい中小企業施策について	四国経済産業局産業部 中小企業課長 西川 裕泰 氏
14:00 ～ 15:30	農業経営支援	中小企業診断士 村上 潔 氏
15:30 ～ 17:00	地球温暖化の中小企業への影響と その対策	中小企業診断士 小島 仁 氏

4. 振込金額：

香川県支部会員	受講料(6,000円) + 平成 22 年度年会費(33,000円) →	39,000円 (消費税込み)
	★今回、高松会場で受講されない方は平成 22 年度年会費(33,000円)をお振込ください →	33,000円 (消費税込み)
受講のみの方	受講料(6,000円) →	6,000円 (消費税込み)

5. 振込方法：

①郵便振替払込取扱票による振込	お送りした用紙をお使いください
②銀行振込	銀行名：百十四銀行      店 名：西支店 預金種目：普通預金      口座番号：0350079 受取人名：社団法人中小企業診断協会香川県支部

6. 受講申込方法：

①郵送による申込	同封の受講申込書へご記入のうえ、必ず期日までにお送りください。
②ネットによる申込	(研修修了証明書の当日発行など、情報システムにより利便性が格段に向上しております)別紙ご参照のうえ、ぜひご利用ください。

7. 申込期限：平成 22 年 8 月 30 日(月曜日)まで(※ 準備の都合により期限厳守でお願いいたします)

8. 修了証明書：研修終了後、会場にて修了証明書をお渡しします。

## 中小企業診断協会岡山・香川県支部合同研修会のご案内

1. 開催日時：2010年10月17日(日) 13:00～19:00

2. 集合時間：12:45

※ マリンライナー時刻

列車名	岡山発	⇒ 坂出	⇒ 高松着
マリンライナー25号	11:13	11:53	12:07
マリンライナー27号	11:42	12:20	<b>12:36</b>

↑  
オススメ

3. 集合場所：JR高松駅 正面玄関前

4. スケジュール：

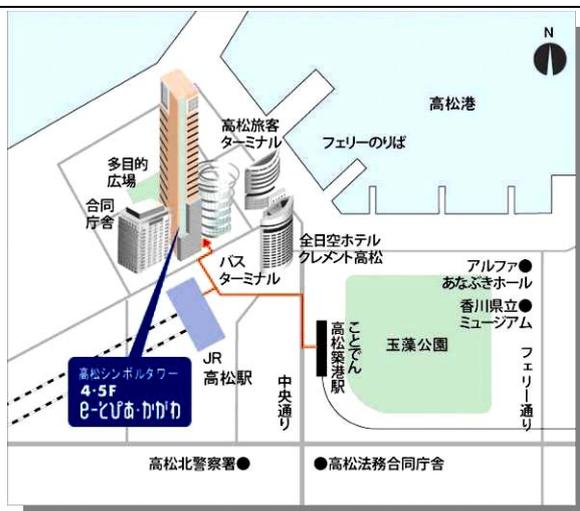
12:45	JR高松駅出発
12:50	高松シンボルタワー棟5階 eとぴあ・かがわ BBスクエア着
13:00	挨拶およびオリエンテーション
13:10	開業診断士2名による開業体験発表 (原則として開業歴3年未満、岡山・香川各1名)
	グループ内簡易自己紹介(30秒/名)および
13:40	発表者に対する感想・質問のまとめ (発表者2名は両支部長と4名で掘り下げた自己紹介等)
14:00	質疑応答、グループディスカッション ほか
	①「これからの開業診断士の成功要因(広義)を探る」→開業診断士
	②「診断士の資格を企業内で、どのように活かすか」→企業内診断士
16:15	グループ代表者発表
16:35	おわりの挨拶
17:00	懇親会会場「MIKAYLA(ミケイラ)」開会 (香川県高松市サンポート8-40 TEL:087-811-5357) (※ 懇親会の会費4,000円(税込)は当日の集金となります)
19:00 頃予定	閉会・解散

列車名	高松発	⇒ 坂出	⇒ 岡山着
マリンライナー58号	19:10	19:24	20:03
マリンライナー60号	19:40	19:54	20:36
マリンライナー62号	20:10	20:24	21:05

5. お申し込み方法：

メールまたはFAX



## 平成 22 年度「中小企業経営診断シンポジウム」 開催のご案内

統一テーマ「今、成功する経営革新とは…」  
～高度な提案力は中小企業診断士から～

1. **日時** 平成22年11月17日(水)午前10時30分～午後5時30分
2. **場所** 東京ガーデンパレス東京都文京区湯島1-7-5
3. **参加者**
  - ・ 中小企業経営者
  - ・ 中小企業支援機関関係者(中小企業庁、都道府県等中小企業政策部局、支援センター、金融機関、商工会議所、商工会、中央会、商店街連合会等の役職員)
  - ・ 報道メディア
  - ・ 中小企業診断士等
4. **内容**
  - (1) 中小企業診断士による経営革新支援事例に関する論文発表および審査 4編
  - (2) 中小企業診断協会各支部(支会)およびその会員グループによる「支部調査・研究報告書」「研究会報告書」「委託事業報告書」等の発表 4編
5. **表彰**
  - (1) 中小企業診断士による経営革新支援事例に関する論文発表者  
最優秀賞1名、優秀賞3名に対し、副賞として最優秀賞10万円、優秀賞各5万円を贈呈
  - (2) 中小企業診断協会各支部(支会)およびその会員グループによる「支部調査・研究報告書」「研究会報告書」「委託事業報告書」等に関する論文発表者入選4編に会長賞、副賞として各10万円を贈呈

**診断かがわ 第55号（夏季号）  
平成22年8月2日発行**

**社団法人中小企業診断協会香川県支部**

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-840-0370 FAX 087-840-0321

ホームページ：<http://www.shindan-kagawa.org/>

メールアドレス：[mail1<sup>いち</sup>@shindan-kagawa.org](mailto:mail1@shindan-kagawa.org)

発行人	支部長	山下	益明
編集人	広報部	梅澤	秀樹
”	”	立川	敦史
”	”	小島	仁